

送付票(本状含め2枚)
宛先 各医療機関
各地区医師会・歯科医師会・
薬剤師会
各市町村
各市町村教育委員会
送信者:富士・東部保健所 地域保健課

御中

平成28年4月8日
富士・東部保健所

感染症発生動向調査情報(週報)

2016年13週(03月28日～04月03日)

山梨県内流行情報

峡東保健所を除く各保健所管内のインフルエンザの定点あたりの報告数は減少しています。5つの保健所(支所)管内のうち、先週に引き続き2つで警報レベルとなっています。峡東保健所管内では、定点あたりの報告数が11.29(12週)から14.14(13週)と増加となっています。引き続き手洗いうがいの励行、バランスのとれた食事等を心がけ、インフルエンザの感染予防に努めましょう。また、できる限り人混みを避け、体調が悪い時は無理せず十分な休養を取り、早めに医療機関を受診するとともに、咳エチケットなどの配慮も大切となります。

また、先週警報レベルとなっていた中北保健所峡北支所管内のA群溶血性レンサ球菌咽頭炎については、警報レベルの解除となりました。今後も一般的な予防対策である手洗いうがいの励行など予防策の励行を心がけるとともに、発熱・咽頭痛・莓舌などの特徴的な症状が現れたら早めに医療機関を受診しましょう。

[今週の警報]:インフルエンザ(中北保健所峡北支所管内、峡東保健所管内) / [今週の注意報]:なし

富士・東部管内流行情報

インフルエンザの報告数は少なくなってきていますが、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎や感染性胃腸炎の報告数が増えてきています。手洗いうがい・マスク着用を徹底しましょう。また、加湿器などで湿度を保つなど感染予防に努めると共に体調が悪い時は無理をせず早めに医療機関を受診しましょう。

定点報告の感染症

定点・・・定点当たり報告数

	インフルエンザ		RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	54983	11.2	573	0.18	693	0.22	6119	1.95	17293	5.52	1151	0.37
山梨県	383	9.58	-	-	3	0.13	45	1.88	71	2.96	4	0.17
中北	116	8.92	-	-	1	0.13	12	1.5	30	3.75	1	0.13
中北峡北	93	11.63	-	-	-	-	16	3.2	10	2	-	-
峡東	99	14.14	-	-	1	0.25	2	0.5	4	1	3	0.75
峡南	13	4.33	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
富士・東部	62	6.89	-	-	1	0.2	15	3	26	5.2	-	-
	手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	58	0.02	1019	0.33	1248	0.4	44	0.01	36	0.01	2825	0.9
山梨県	-	-	7	0.29	4	0.17	-	-	-	-	4	0.17
中北	-	-	2	0.25	3	0.38	-	-	-	-	4	0.5
中北峡北	-	-	1	0.2	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	1	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	3	0.6	1	0.2	-	-	-	-	-	-
	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎	
	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点	総数	定点
全国総数	9	0.01	349	0.51	7	0.01	14	0.03	188	0.4	6	0.01
山梨県	-	-	4	0.44	-	-	-	-	2	0.2	-	-
中北	-	-	1	0.33	-	-	-	-	1	0.33	-	-
中北峡北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
峡東	-	-	-	-	-	-	-	-	1	0.5	-	-
峡南	-	-	-	-	-	-	-	-
富士・東部	-	-	3	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-

(次ページあり)

山梨県週別発生動向

疾病	推移	状況	13週		12週		11週		10週	
			定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数	定点	報告数
インフルエンザ	横ばいです	平年並みです	9.58	383	11.25	450	21.03	841	33.83	1353
RSウイルス感染症	-	-	-	-	0.13	3	0.21	5	0.08	2
咽頭結膜熱	-	-	0.13	3	-	-	0.04	1	0.04	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	横ばいです	平年並みです	1.88	45	2.13	51	3	72	4.71	113
感染性胃腸炎	横ばいです	平年より少ない発生数です	2.96	71	3.38	81	3.71	89	3.46	83
水痘	横ばいです	平年より少ない発生数です	0.17	4	0.17	4	0.08	2	0.13	3
手足口病	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑	横ばいです	平年並みです	0.29	7	0.25	6	0.46	11	0.25	6
突発性発疹	やや減少しています	平年並みです	0.17	4	0.29	7	0.25	6	0.29	7
百日咳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	横ばいです	平年並みです	0.17	4	0.13	3	0.13	3	0.21	5
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	横ばいです	平年並みです	0.44	4	0.33	3	0.44	4	0.33	3
細菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	1
マイコプラズマ肺炎	-	-	0.2	2	-	-	0.2	2	0.2	2
クラミジア肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

推移と状況のコメントは、過去5年分のデータ(平均値等)に基づき表示しています。

全数報告の感染症

分類	疾病名	保健所名	性別	年齢
二類感染症	結核	峡東	女	91
二類感染症	結核	峡東	女	57
二類感染症	結核	中北	男	80